

「買いもん行こカー」で買い物に行こう



▲協定を締結したコープこうべの金子さんと

令和4年11月8日、播磨町は生活協同組合コープこうべと包括連携に関する協定を締結し、金子博子さん（第6地区本部組合員理事）と協定書を取り交わしました。コープ播磨では、自宅から店舗まで無料で送迎する「買いもん行こカー」の運行が8月からスタートしています。この協定を機に、子育てや福祉・買い物支援・地産地消などの分野でさらに連携し、地域社会の発展と、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりを目指して協働していきます。

生活協同組合コープこうべと連携協定を締結しました

トライやるウィークの活動の中で、中学生が記事を書きました

「役場での5日間（トライやるウィーク）」

こんにちは、僕たちはトライやるウィークで播磨町役場にきました。職場体験は初めてで、すごく緊張しましたが、体験していくうちに、役場の人も優しく接してくれるので、安心して楽しくトライやるウィークをすることができました。その中で体験して楽しかったこと、すごいと思ったこと、教えてもらったことなどいろいろ書いたのですが、ぜひ最後まで見てもらえると嬉しいです。

協働推進課の藤川千尋さんにお話しを伺いました。

協働推進課は、2つの係に分かれており、1つは住民協働係、もう1つは生涯学習係で分かれています。住民協働係はまちづくりや地域活動などの仕事をされており、生涯学習係では文化やスポーツ、美術展などのイベントのお手伝いなどを行っているそうです。藤川さんは、住民協働係のほうで、主に自治会のサポートをしていて、お仕事は大変ですか？と尋ねてみたところ「大変なときもあるけど楽しい。この仕事が自分に合っている



▲町職員の藤川さんにインタビュー

と感じた」と答えてくれました。生まれも育ちも播磨町出身という藤川さんは播磨町が好きでもっと播磨町の良さを知ってもらいたい！とおっしゃっていました。良さを知らするために大事なことを尋ねると、「好きなところを一つ一つ見つけること」と答えてくれました。

加古川市消防本部と加古川東消防署に行きました。

僕たちは、トライやるウィークの活動で、加古川市消防本部と加古川東消防署に行きました。



▲加古川東消防署の訓練の様子

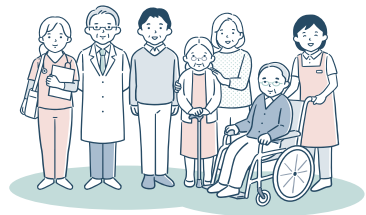
まず消防本部では、119番に訓練通報をしました。住所や名前、現場の様子など、予想以上にたくさんのお話を聞かれました。次に、消防署では、消防士さんたちの訓練の様子を見ました。はしごに登って救助する姿は、とてもかっこよかったです。どちらも普段は体験できないのでとてもいい経験になりました。

上下水道課の仕事

上下水道課では、播磨町の住民が使う水を提供しています。播磨町の水は取水井というところからくみ上

地域福祉計画策定の進捗状況

6月から進めている「地域福祉計画」の策定について、現在の進捗状況と今後の予定についてお伝えします。



①アンケート調査を実施しました

地域福祉計画の基礎資料となるアンケート調査を実施しました。調査は、地域活動に携わっている団体や町に関する福祉関連の事業所、民生委員・児童委員、一般住民を対象に、10月から11月中旬にかけて行い、11月末時点で573件のご回答をいただきました。



アンケートにご協力いただいた皆さま、お忙しいなか、貴重なご意見をありがとうございました。アンケート結果は、現在集約及び解析をすすめており、その内容については、計画のおおまかな骨子ができた際、パブリックコメントにて皆さまに公開する予定です。

げられ、着水井に入り、混和池で水をきれいにするための薬品を入れ、かき混ぜ、フロック形成池で水の中にできた濁りの塊「フロック」を大きくし、沈殿池で沈殿させ、ろ過池で砂と砂利の層を通してさらにきれいな水にし、配水池に貯められ、ポンプ室から家や学校などに送られます。

編集後記

●この一週間たくさんを経験し、たくさんの方の話を学びました。この貴重な体験を忘れず学校生活に生かせるよう頑張ります。(N)  
●初めてやることばかりで最初は不安だったけど普段やらない貴重な体験もたくさんできて役場にきて良かったと思った。(H)  
●最初はどこに行こうか迷って、なんとなく役場を選んだけど、思ったより楽しかったです。将来なりたい職業を今から決めていきたいです。(Y)  
●将来何になるかがあまりわかってなくて、親にいわれてはいつてみたけど、意外と楽しかったりみんな優しくかったりしていいなと思いました。(F)

②ワークショップの参加者を募集します

今回のアンケート調査の結果や、そもそも福祉とは何なのかをテーマとしたワークショップを開催します。この機会に、播磨町に必要な福祉について話し合いたいです。

日 2月11日(土) 14時～17時(予定) 中央公民館視聴覚室

内 ①アンケート調査などの結果報告②テーマ別のグループディスカッション

※テーマについてはアンケート結果から設定する予定です。対中学生以上の町内在住・在勤の人

定 80人 締切 1月27日(金) ※応募状況により、早めに募集を終了する場合があります。申問 電話またはメールでお申し込みください 健康福祉課地域福祉係 079-4335-0311 kenfuku02@town.harima.lg.jp



第53回播磨町文化祭が開催されました



▲京山幸太さんの浪曲に聴き入りました

**播磨町文化祭を開催**  
11月12日、13日に播磨町文化祭が中央公民館にて開催されました。展示の部では3団体の作品が展示され、演芸の部では10団体が参加し、多くの拍手を頂き播磨町の皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。また播磨町町制施行60周年を記念して浪曲師京山幸太さんに出演いただきました。多くの来場者で賑わい、世代を超えて人と人がつながる交流の祭典となりました。

**関係協働推進課生涯学習係**  
☎079-435-0565

播磨町文化賞の表彰を行いました

**受彰者 浅原良平さん**  
永年にわたり町花である菊の素晴らしさを発信し、地域文化の向上に尽くされた功績により、播磨町文化賞を受賞されました。



▲南正晴さん

**受彰者 南正晴さん**  
将棋協会会長として、将棋道の普及に寄与されるとともに文化協会副会長として本町の文化振興に尽くされた功績により、播磨町文化賞を受賞されました。

**播磨町文化賞を贈呈しました**  
播磨町文化祭のなかで、文化賞の表彰を行いました。  
この賞は、長年にわたり文化の継承を保存、また文化団体の育成と指導に尽力され、播磨町の文化の振興に貢献された功績が著しい個人または団体に贈られるものです。

トライやるウィーク実施中の中学生と共に菊花を配布しました



▲60thの文字に並んだ菊花展示後、住民に配布しました

**播磨町菊花展実行委員の皆さんが菊花を配りました**  
菊花展会期中、播磨町町制施行60周年記念事業として、中央公民館前に菊花で花文字を展示しました。  
11月10日、町花である菊花の普及のために、トライやるウィーク実施中の播磨町の中学生と協力して、播磨町菊花展実行委員の皆さんが、花文字で使用了菊花をお配りしました。さわやかな秋の日に、多くの住民の皆さんに菊花を楽しんでいただきました。

**関係協働推進課生涯学習係**  
☎079-435-0565

技術と実績ある職人、情熱と信頼ある経営者の地域貢献

令和4年度播磨町技能職者表彰  
11月24日、表彰式が町長室で行われました

受彰者 松本孝徳さん（本荘）  
板金建設業

昭和48年より実父の経営する松本ブリキ店に従事し事業継承後、屋根改修工事業者からオフィス家具を扱う内装工事業者へと経営の多角化を図りました。また、塩化ビニール素材を活用した鳥居の開発・拡販に成功するなど経営者としての先見性も備えています。

経営に関する資格も複数取得し、経営改善に努め、多くの顧客を得ました。

卓越した技能伝承にも余念がなく町内唯一の板金建設業として、地域の建設者、特に若手継者を率先垂範して牽引しています。

**関係産業環境課産業経済係**

☎079-435-0304



▲松本孝徳さん（中央）に表彰状を授与

全国スポーツ推進委員研究協議会で表彰されました

兵庫県から表彰されました

兵庫県社会賞 亀田龍昇さん

長年にわたり民生委員児童委員など、地域福祉の推進に貢献された功績により、亀田龍昇さん（上野添）が兵庫県社会賞を受賞されました。



▲亀田龍昇さん（左）ご夫婦で町長室に報告に来られました

30年勤続スポーツ推進委員表彰  
を扇谷一徳さんが受彰

永年にわたり本町スポーツの普及に寄与するとともに播磨町スポーツ推進委員会委員長として団体の発展に貢献するなどの功績により、扇谷一徳さん（宮北）が、30年勤続スポーツ推進委員表彰を受賞されました。



▲扇谷一徳さん表彰式会場で撮影

手ぎわりのいい木のおもちゃをいただきました

Daiogasグループからおもちゃを寄贈いただきました

Daiogas（旧大阪ガス）グループでは、社会貢献として企業ボランティア「小さな灯運動」を行っており、様々な活動で集めた募金で、子育て支援センターに玩具を寄贈いただきました。国産材木の自然素材を使用した職人の手作りによる温かみがあるおもちゃで、町からの感謝状を贈呈しました。



▲贈られたおもちゃ（子育て支援センターにて）





播磨町町制施行60周年・大中遺跡発見60周年



あわせて、秋の一日を  
楽しんでいました。  
郷土資料館（大中遺  
跡まつり実行委員会事  
務局）  
☎079-435-5000

11月5日、第30回大中遺跡まつりを開催  
しました。大中遺跡は発見60周年を迎える  
ことから、発見者のひとりである浅原重利  
さん（播磨町文化財保護審議会会長）も火  
起しの儀でジャンボ舞ぎりの操作に加わり  
ました。ステージでは、播磨町町制施行60  
周年のセレモニーやリニューアルしたいせ  
きくんとやよいちゃんのお披露目など、節  
目の開催を記念する内容が盛り込まれ、来  
場した人たちは、多くの古代体験ブースと

第30回大中遺跡まつりを3年ぶりに開催しました



▲兵庫県立考古博物館ボランティア団体のひょうご考古楽倶楽部制作の新しい貫頭衣と勾玉を身につけてあいさつをする佐伯町長

ジョセフ・ヒコの功績にふれる講演会



▲山口豊さんの講演「『海外新聞』に使用された語彙から見てくること」

11月19日、ジョセフ・ヒコ講演会兼歴史  
講座を兵庫県立考古博物館講堂にて開催し  
ました。  
関東地方から羽島知之さん（新聞資料研  
究会会長）、稲垣滋子さん（ジョセフ彦記  
念会）を迎え、播磨町在住の山口豊さん  
（ジョセフ彦記念会）を加えた3人の講師  
による3部制の講演会を開催しました。  
参加者は、ジョセフ・ヒコの活躍やヒコ  
が発行した日本で最初の新聞「新聞誌」か  
ら見た当時の言語生活の研究などの内容に、  
興味津々に耳を傾けていました。  
郷土資料館  
☎079-435-5000

子どもたちの“ひらめき”と“やる気”が魅力的！



▲子どもせんせいや子ども店長がイキイキしていました

「わくわく☆ふえすた」を開催  
しました  
つながる地域が育む子ども「のコンセ  
プトに沿って、「わくわく☆ふえすた」が  
11月27日、中央公民館で開催されました。  
子どもが主役のマーケット「みんなのひ  
ろば」では、乗り物の形に組み立てられた  
ブロックに値段をつけて商品を魅力的に見  
せたり、「客がいないので歩いて売る」と  
ワゴンを手作りして引いて歩くなど、素敵  
な発想がいくつも見られました。「みんな  
で学校ごっこ」の中でも、小学生がダンス  
やイラストなどの先生となって教える授業  
が開かれました。  
地域学校教育課地域教育係  
☎079-435-0303

トラックが曲がる時、どんな危険があるか知ってる？



▲バスの乗車体験



▲運転席からの死角って何？

交通安全のつどいを開催しました  
11月8日に播磨小学校で交通安全のつど  
いを開催しました。  
兵庫県トラック協会と神姫バス、加古川  
警察署にご協力いただき、内輪差について  
の実演講習やバスの乗り方講習、警察官の  
方のお話など、交通安全について、いろい  
ろなことを学びました。  
学習の後には、兵庫県警察音楽隊による  
演奏を楽しみました。  
危険管理課  
☎079-435-0991

手づくり絵本「どどここサンタさん」「BOO！」で受賞



▲受賞作品と賞状を手にする「ほっこりちゃん」のメンバー。左から太田亜由美さん、堀千佳さん、岡崎明菜さん

北部子育て支援センターで活動  
中のサークル「ほっこりちゃん」  
が手づくり絵本コンクールで受賞  
北部子育て支援センターの読み聞かせサ  
ークル「ほっこりちゃん」が令和3年度兵  
庫県立こどもの館手づくり絵本コンクール  
「審査員特別賞」を受賞しました。受賞し  
た絵本は、開くと色々な工夫がしてあり、  
子どもたちはワクワクしながら、絵本の時  
間を楽しんでいます。  
郷土資料館  
☎078-944-0717

福祉会館の「まちの居場所活動」から、レポートをいただきました

12月3日「鉄道模型を走らせよう！」  
を開催しました  
いつもは金曜日（9時～17時）に開いて  
いる「まちの居場所はりまある」、初の土  
曜日オープンでした。  
浜の宮鉄道倶楽部さんのご厚意でたくさ  
んの鉄道模型を走ら  
せて頂き、電車好き  
な子どもたちからお  
じいちゃんおばあ  
ちゃんまで一緒にな  
って楽しく過ごしまし  
た。  
普段は「誰でも自  
由に過ごしつつ交流  
できる場所」を開い  
ていますが、ときど  
き皆が楽しめるイベ  
ントを企画開催して  
います。最新情報は  
SNSや福祉会館入  
口の掲示板でご案内しておりますので  
「お！」というイベントがありましたらお  
気軽にご参加ください。これからも町民同  
士が自然と繋がるような場となれるよう、  
一歩一歩と活動を積み重ねていきたいと思  
います。  
わくわくしました



▲わくわくしました



「播磨町PR動画コンテスト」 ご応募ありがとうございました！

播磨町PR動画コンテストの優秀作品が決定しました！

播磨町町制施行60周年を記念して、10月31日まで播磨町をPRする動画を募集しました。応募いただいた25作品について審査を行い、優秀作品が決定しました。審査は15秒のショートムービー部門と60〜120秒のロングムービー部門で、ロングムービー部門で3作品が優秀賞に決定しました。受賞者には、賞状・副賞を贈呈するとともに、受賞作品を播磨町ホームページと播磨町公式YouTubeチャンネルで公表していきます。

今後も同様のコンテストを開催します

今回のコンテストでは、残念ながら最優秀賞に該当する作品はありませんでしたが、今後も同様のコンテストを開催する予定です。詳細については令和5年4月以降に広報紙や町ホームページでお知らせしますので、皆さん奮ってご応募ください。

企画課政策調整係 079-435-0356



播磨町PR動画コンテスト

土山駅南広場でイルミネーション



▲毎日17時～深夜24時、1月21日（土）まで点灯しています

毎年恒例となった、播磨町商工会と町内金融機関5者の主催による、イルミネーション事業が土山駅南口ロータリーで開催中です。今年飾られた言葉は「ワンチーム」。住民、企業、行政などが想いを共有して、まちを盛り上げていこうという思いが込められています。11月15日に開催された点灯式では、播磨南高校吹奏楽部の演奏がオープニングを飾り、カウントダウンに合わせて、会場が一齐に温かい光で彩られました。

播磨町商工会 079-435-1630

播磨町教育広報

キャンパスだより

播磨町立播磨西小学校 3年生 「発見！春と秋との生き物や自然の変化！」

10月20日に環境体験学習の一環で、三木山森林公園へ行ってきました。5月にも行ってきたので、今回は春と秋の違いを見つけ、秋の自然を体感することができました。

前回とは、また違ったたくさんの植物や虫たちや鳥たちなど、多くの生き物を見ることが出来ました。中でも、子どもたちの印象に多く残っているのは、「どんぐり」の種類でした。どんぐりだけでもたくさんの種類があり、その違いを見分けるのが本当に難しかったです。今は気温が高く、まだ秋の深まりはこれからというものもたくさんありましたが、それでも色の違いや鳥や虫などを目の前にしたときは、みんな大興奮でした。そして、触ってみてまた大興奮でした。



誰も排除しない「まぜこぜの社会」をめざして

こころふれあう町民のつどい講演会

12月4日に俳優でありながら、骨髄バンクやドイツ平和村、障がい者アート等のボランティアもされている東ちづるさんをお招きして講演会を開催しました。早い方は2時間前から来場されるなどさすが人気の俳優さん。開演時刻にはほぼ満席状態になりました。お話しはご自身の体験からボランティア活動に至るまでのことを笑いも含めて90分という時間が短く感じられました。俳優という職業柄何ごとにも自信満々で取り組まれていたのかと思いがちですが、迷いながら、悩みながら、それでも少しずつでも前へ一緒に進めればという言葉に俳優東ちづるさんとしてではなく、一個人の東ちづるさんの体験談としてみなさん感動されたのではないのでしょうか。

地域学校教育課地域教育係 079-435-0303



「コロナ禍だから考えたい～地域や家庭にできること～」

播磨町女性活動活性化事業推進協議会主催の子育て応援ネット推進事業講演会

12月6日、講師にお迎えした栗木剛さん（motion young事務局長）に、今の子どもたちを取り巻く環境や、栗木さんの生い立ちなど、想いの詰まったお話をいただきました。地域の子育て支援の支えについては、「世代を超えて、興味を持ち続けることが大切だ」と話されました。参加者同士の意見交換も活発になされ、笑いの絶えない充実した講演会でした。最後に柘田委員が「コロナの状況を踏まえ、知恵を借り、手立てや工夫をしつつ、地域の子育て支援のために、なにができるか考えていきたい」と謝辞を述べられました。

協働推進課生涯学習係 079-435-0565

※播磨町女性活動活性化事業推進協議会は、朝のあいさつ運動や講演会の企画を行っています。



奮。アカマツと播磨町のシンボルの木であるクロマツの違いや、ヌルデの特徴、『おすきなふくは』で覚えた秋の七草については何度も確認しました。ガイドさんが今回もとても丁寧に詳しく教えてくれたので、本当にたくさん学びがある1日となりました。

